

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さんてらすなの花		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実のため4つの分野に分けどの曜日にも1回はその分野を経験するように活動を設定している	<ul style="list-style-type: none"> 活動ミーティングを設け意見を出し合っている 個人の活動、集団の活動を積極的に取り入れている。 	低学年、高学年と一緒に活動をする事は難しい内容もあるため、別の活動を設けるなど取り入れていきたい
2	家族と細かく連携をとっている	<ul style="list-style-type: none"> 2か月に1回連絡帳とは別に紙面上に悩み事や近況を聞いている 必要に応じてお茶会を設け話せる時間をとっている 	職員と家族間はあるが、家族間同士の交流が少ないため、場を設けていきたい
3	保育士、作業療法士、理学療法士様々な分野の職員が配置されている	感覚統合療法、SSTなど取り入れている	<ul style="list-style-type: none"> より専門的に日頃から支援していけるようにしていきたい 外部研修に積極的に参加し、支援に取り入れていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学童、他施設との交流の機会が少ない 機会があっても他児との交流があまりない	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇でないと場を設けるのが難しい 感染症の発生のため、設けても実行に至らない 学童が低学年が多いため、放デイ利用の高学年が楽しめない 	他施設の児童と協力して達成できる活動を取り入れる
2	静の活動をしたい人と動の活動をしたい人数の割合をみるとどうしてもどちらかが譲り過ぎないと難しい場合がある	<ul style="list-style-type: none"> 早く来た児童から場所が確保されている 活動に不参加の児童の活動の場が限られている 	時間の調整
3	送迎等で職員の出入りが激しいため、個別の課題をする時間が慌ただしくなる	療育の職員が送迎にでている	事前に取り組む日を全員が把握し配車の調整が出来るようにする